

学園都市をタイムスリップ。

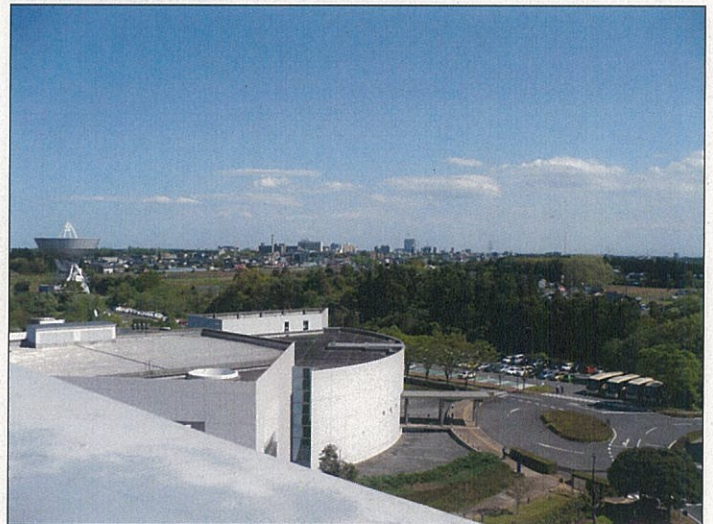
この写真は、学園都市の建設工事が行われていた昭和 51 年（1976 年）に撮影されたものと、それから 30 年以上が経過した平成 21 年（2009 年）に同じ場所で撮影されたものとを比較しています。木々の成長や建物の出現などに、経過した時間を感じることができます。

（写真は国土地理院撮影、左：1976 年 3 月、右：2009 年 4 月）

■学園東交差点から土浦の方向を見る



■国土地理院本館屋上から学園都市の中心部の方向を見る



■国土地理院本館屋上から記念病院の方向を見る



学園都市と交通網

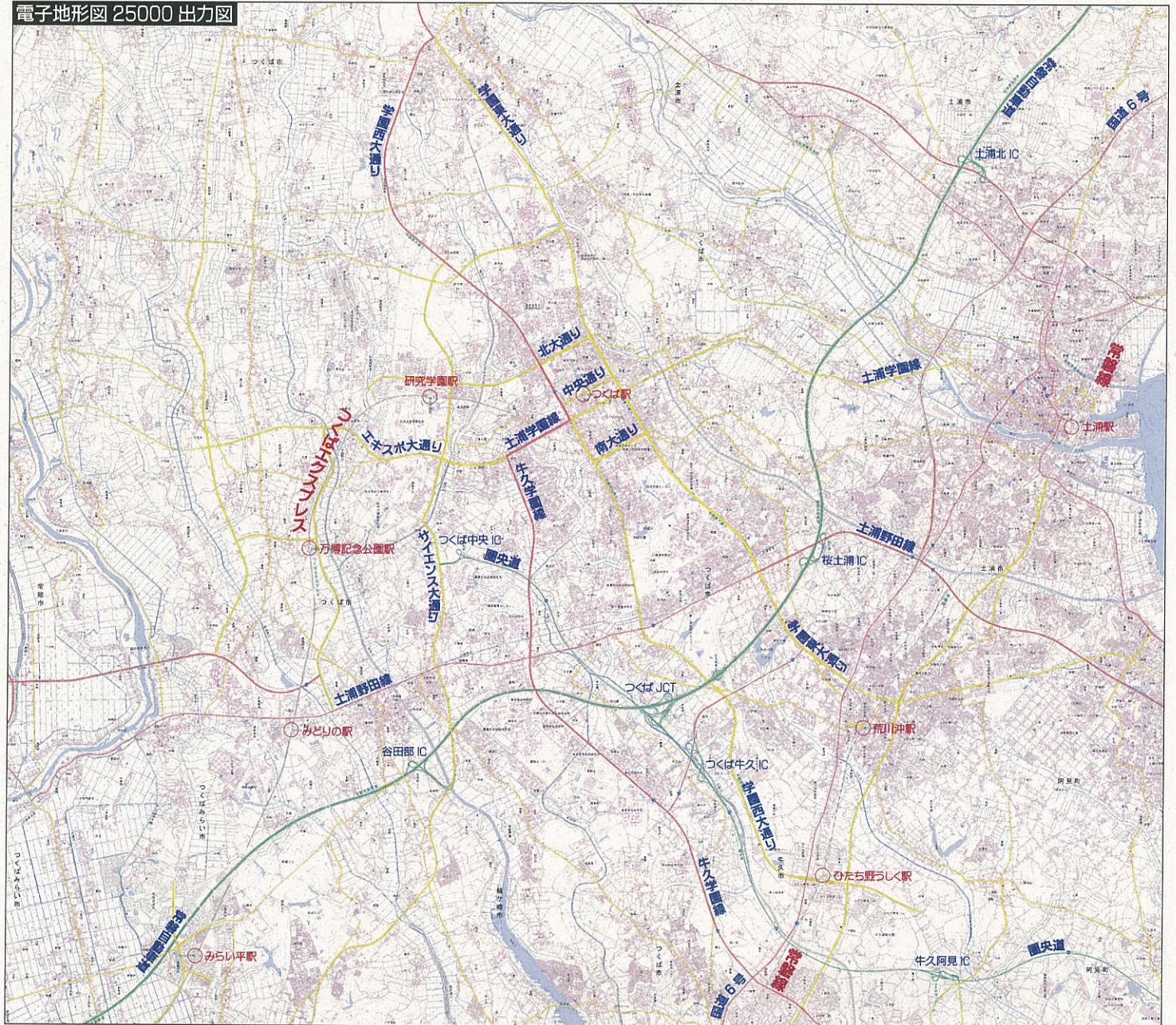
学園都市の交通網は、昭和 48 年（1973 年）に土浦学園線の一部が開通し、まず、土浦市街地と学園都市中心部が結ばれました。昭和 52 年（1977 年）には学園東大通りが全線開通して国道 6 号につながりました。その後、南北 3 幹線（東大通り、西大通り、牛久学園線）と東西 5 幹線（北大通り、中央通り、土浦学園線、南大通り、土浦野田線）を中心に道路のネットワークが形成され、各研究機関や公共施設、住宅や商業地など都市内の移動はもとより、周辺都市とも結ばれました。

移転当時、学園都市から都心などへの交通手段といえば、バスや自家用車で最寄りの土浦駅や荒川沖駅に出て、JR 常磐線（当時は国鉄）を利用して北千住駅・日暮里駅・上野駅などのターミナル駅で乗り換えて目的地に行くか、自動車を利用して東大通りや牛久学園線から国道 6 号に出て東京方面に向かっていました。

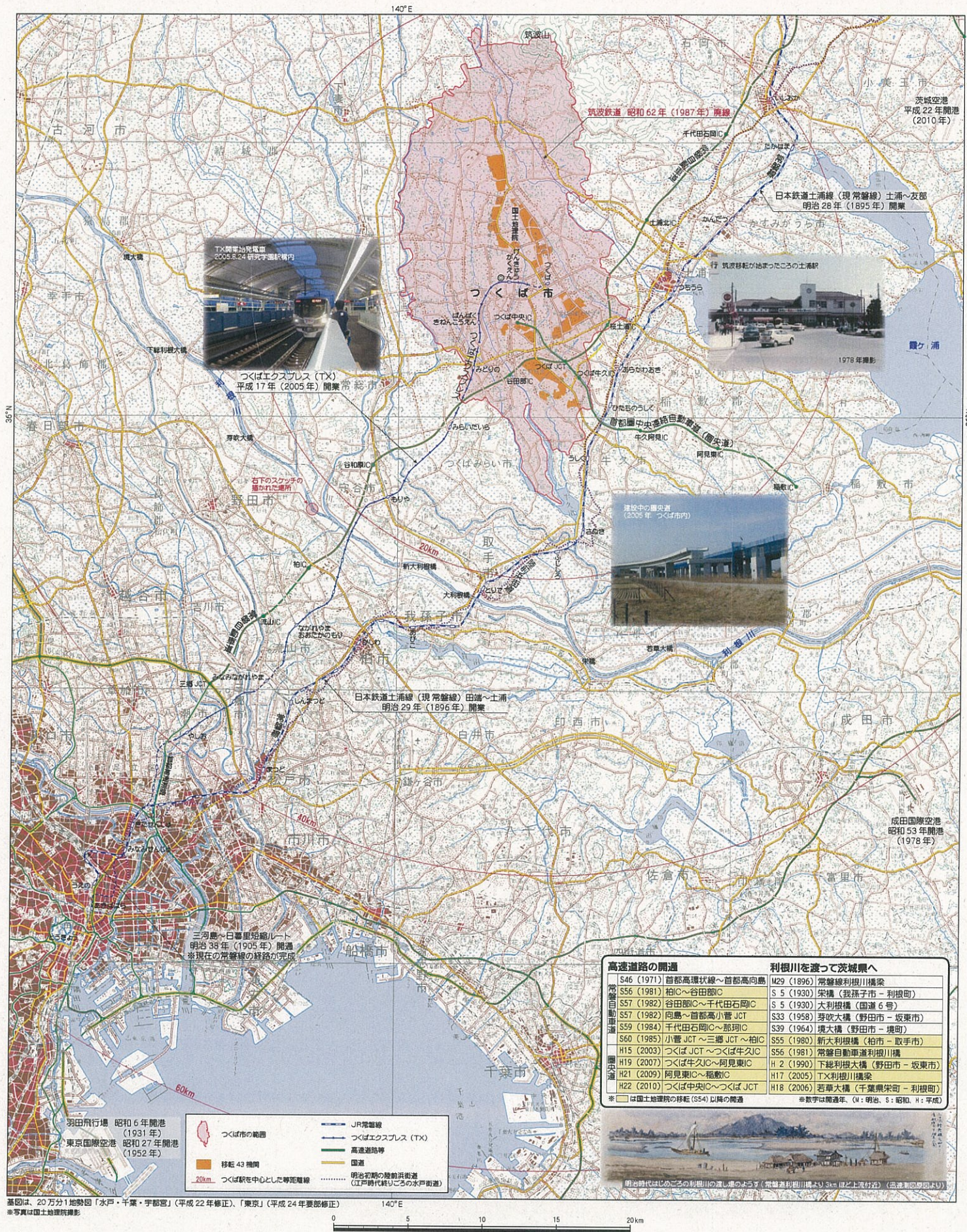
常磐自動車道が首都高速とつながり都心と結ばれたのは、科学万博が開催された昭和 60 年（1985 年）でした。それまで並行して走る高速道路のなかった国道 6 号は慢性的な交通渋滞が発生し、特に利根川を渡る大利根橋や千葉県と東京都との境の新葛飾橋がネックとなっていました。そこで渋滞を避けて、龍ヶ崎市を通り栄橋で利根川を渡し、現在の印西市から鎌ヶ谷市を経由して市川市から都内に入ったり、水海道から芽吹大橋で利根川を渡し、野田市から越谷市・草加市を経て埼玉県側から都内に入るルートなども利用されていました。

現在、学園都市の南部には常磐自動車道が走り、都心と直結しています。また、北に向かえば県庁所在地の水戸や北関東・東北地方と高速道路で結ばれています。さらに、つくば JCT で常磐自動車道と接続し、都心の外側を環状につなぐ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の建設も進められています。平成 17 年（2005 年）にはつくばエクスプレス（TX）が開業し、学園都市中心のつくば駅から秋葉原駅まで最速 45 分で行くことができるようになりました。

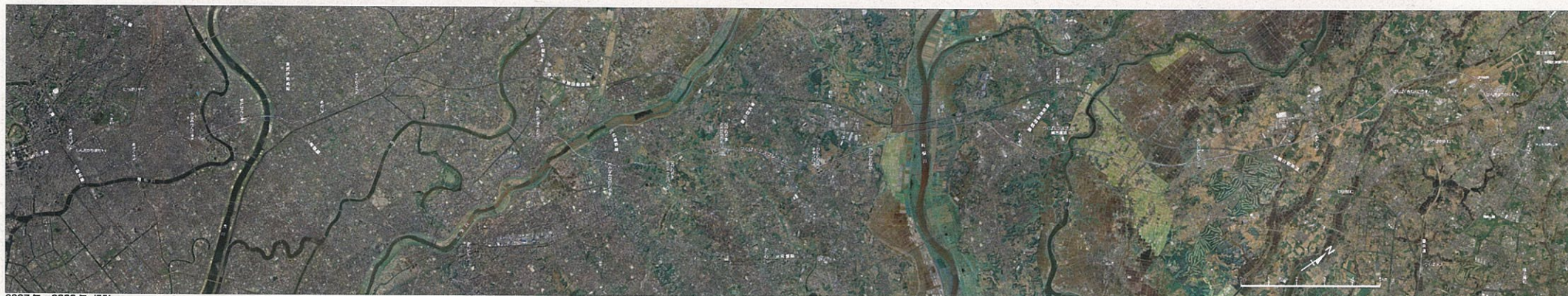
電子地形図 25000 出力図



つくばへの道



つくばエクスプレス (TX) 沿線の今むかし



2007年～2009年 撮影

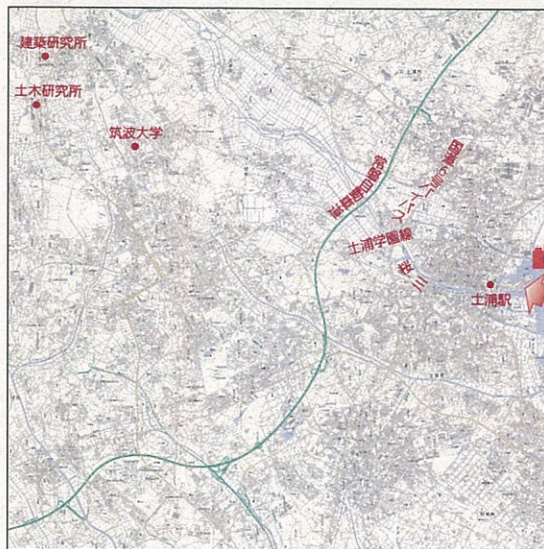


「2万分1迅速測図原図」明治13年～明治17年(1880～1884) 参照本館測量 (2万5千分1に縮小)

80 年代の学園都市を空撮写真で振り返る

土浦市街地と学園都市遠望

1980 年撮影



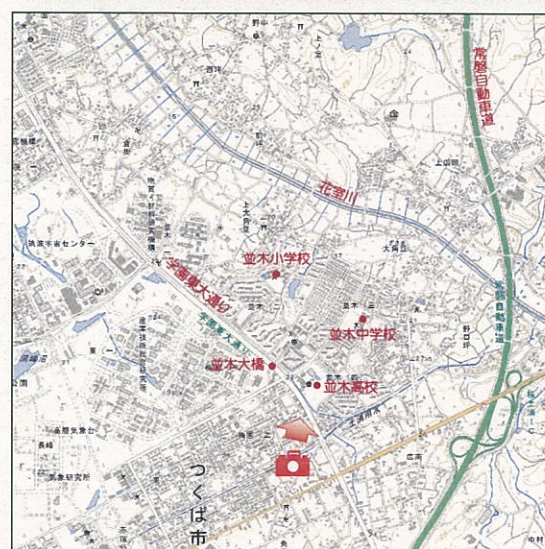
当時の土浦駅はまだ駅ビル化される前で、駅東口と土浦学園線をつなぐ高架道もできていません。写真の手前、駅の東側には鉄道輸送と船舶輸送の接続のため、土浦港の一部が駅構内まで入り込んでいました。

市街地の西側、水田を横切って常磐自動車道や国道 6 号バイパスが建設中です。写真上方遠くに学園都市にある筑波大学、土木研究所、建築研究所などの建物が見えます。

写真は山田圭一筑波大学名誉教授より国土地理院に寄贈されたものです。展示の画像は 35mm スライドフィルムから拡大出力しています。

並木大橋と並木住宅

1980 年撮影

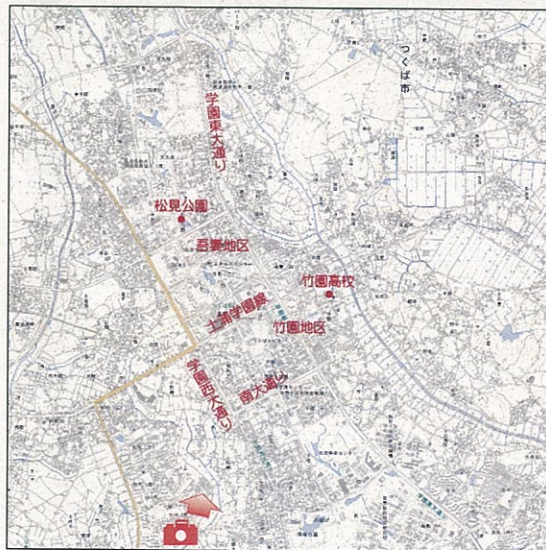


国土地理院の筑波移転からおよそ 1 年後の並木住宅周辺です。

写真手前の森は、現在、並木高校が建っている場所です。写真の右手奥には、建設中の常磐自動車道を見ることができます。常磐自動車道の谷田部IC〜千代田石岡ICの開通は 1982 年 3 月でした。写真の公務員住宅のうち、その後廃止され現在は一般住宅やマンションに変わっているものもあります。

学園都市中心部と筑波山遠望

An aerial photograph of Maebashi, Japan, showing the city's layout and surrounding landscape. The city is situated in a valley, with mountains visible in the background. The image is annotated with several labels in Japanese: 筑波山 (Maebashi-san) at the top left, 松見公園 (Matsumi Park) on the left, 学園南大通り (Gakuen Minami Dōri) on the left, 吾妻地区 (Aizumi-ku) in the center, 土浦学園線 (Tsuji Gakuen Sen) in the center, 学園西大通り (Gakuen Seidōri) on the left, 竹園地区 (Takeshi-ku) on the right, 竹園高校 (Takeshi Kōkō) on the right, and 南大通り (Minami Dōri) on the right. The city features a mix of residential buildings, commercial areas, and green spaces. The surrounding landscape includes fields and forests.



学園中心部の竹園地区・吾妻地区で目をひく建物のほとんどは、公務員住宅や研究機関・学校とその関連施設で、周囲には田畑や空き地、森林が広がっています。学園都市が街として充実してくるのは、この写真の撮影から3年後に開催された科学万博のころからです。

学園東交差点付近

(クレオスクエア)

(Q's)

(バスセンター)

センタービル

NTT 東日本

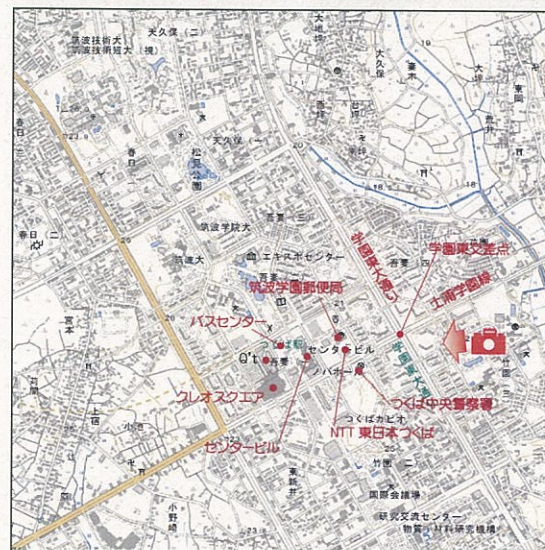
学園郵便局

中央警察署

学園東交差点

学園南大通り

上原公園



写真の左手上方土浦学園線沿いに警察署、郵便局、NTT、センタービルなどのオフィスビルはありますが、現在のクレオスクエアやキュート(Q't)を中心とする商業施設はまだ何もできておらず、バスセンターも整備されていません。